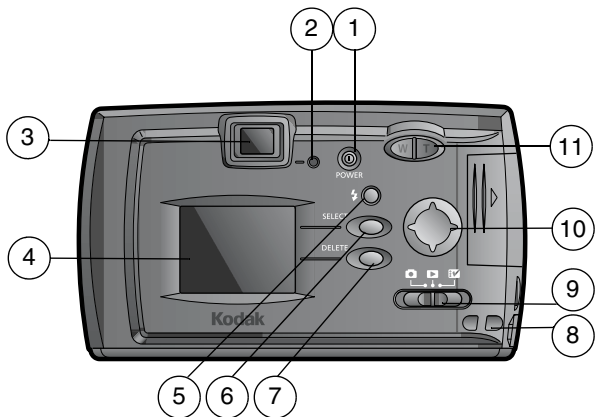
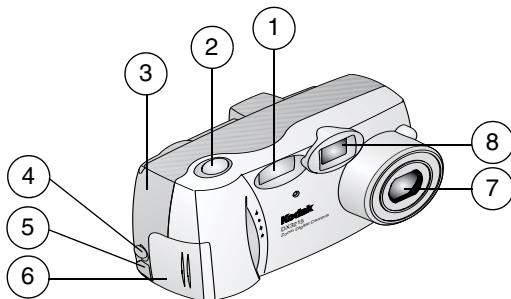
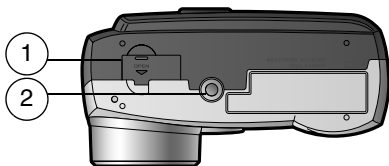
KODAK EASYSHARE DX3215
ズーム デジタル カメラ

ユーザーズ ガイド

Kodak の Web サイト www.kodak.com をご覧ください。

背面

1 Power (パワー) ボタン
2 スタンバイ ライト
3 ビューファインダー
4 液晶画面
5 フラッシュ ボタン
6 Select (選択) ボタン
7 Delete (消去) ボタン
8 リスト ストラップ取り付け口
9 モード セレクタ
10 4 方向ボタン
11 ズーム (望遠 / 広角) ボタン

前面

1 フラッシュ ユニット
2 シャッター ボタン
3 MMC/SD カード カバー
4 ビデオ出力ポート
5 USB ポート
6 電池カバー
7 レンズ
8 ビューファインダー レンズ

底面

1 ドック接続カバー
2 三脚取り付け口

目次

1 はじめに

KODAK EASYSHARE DX3215 ズーム デジタル カメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。

このカメラでできること

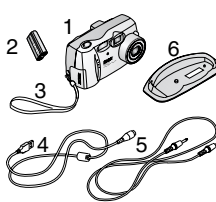
撮影 狙って押すだけの簡単操作をお楽しみいただけます。また、8 MB のカメラ内蔵メモリ、あるいはオプションのリムーバブル MultiMedia (MMC) または Secure Digital(SD) カードに画像を保存できます。

再生 液晶画面に画像を表示したり、不要な画像を消去したり、カメラに保存されている画像のスライド ショーを実行したりできます。

設定 カメラ設定を選択します。

デジタル画像でできること

付属のソフトウェアをインストールすると、次のことができます。

転送 — 画像をコンピュータに転送できます。

共有 — 画像を友達や家族にメールで送ることができます。

印刷 — 自宅のプリンタで印刷したり、KODAK Picture Maker キオスクでプリントを作成したり、MMC/SD カードを最寄りの写真店に持参して印刷してもらうことができます。

楽しい作業 — 特殊効果の追加、スライド ショーの作成、赤目の修正、トリミングや回転、その他いろいろなことができます。

カメラのパッケージ内容

KODAK EASYSHARE DX3215 ズーム デジタル カメラには次のものが含まれています。

1 カメラ
2 KCRV3 または同等のリチウム乾電池 *
3 リスト ストラップ
4 USB ケーブル
5 ビデオ ケーブル
6 ドック インサート **
7 ユーザーズ ガイド ***、クイック スタート ガイド、ソフトウェア CD (ここには掲載されていません)

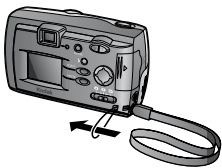
注意 : * 単三リチウム乾電池は付属している場合があります。カメラと KODAK EASYSHARE カメラ ドックがパッケージになっていた場合は、KODAK ニッケル水素充電式バッテリー パックが付属しています。EASYSHARE カメラ ドックの使い方の詳細は、41 ページ を参照してください。

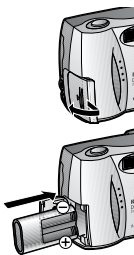
** ドック インサートは、オプションの KODAK EASYSHARE カメラ ドックにカメラをぴったり収めるために使用します。

*** 国によっては、ユーザーズ ガイドは印刷形態ではなく、CD として提供されている場合があります。

KODAK EASYSHARE カメラ ドックは KODAK の販売店または http://www.kodak.com/go/accessories の Web サイトで別売りされています。

リスト ストラップを取り付ける

ストラップを図のように輪に通します。

電池を装填する

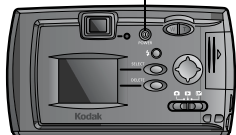
KODAK リチウム乾電池、KCRV3 (または同等のもの) が付属しています。*

1 電池カバーを開きます。
2 電池を図のように挿入します。
3 電池カバーを閉じます。

注意 : 日付 / 時刻を設定 (28 ページ) した後で電池を取り出した場合、その設定は約 10 分間カメラに残ります。

このカメラで使用できる電池の種類については、66 ページ を参照してください。電池の寿命とカメラの信頼性を損なわないようにするために、**アルカリ電池の使用は避けてください。**

注意 : * 単三リチウム乾電池は付属している場合があります。カメラと KODAK EASYSHARE カメラ ドックがパッケージになっていた場合は、KODAK ニッケル水素充電式バッテリー パックが付属しています。バッテリー パックの充電と装着については、44 ページ を参照してください。

カメラをオンまたはオフにする

Power (パワー) ボタン

1 カメラをオンにするには、スタンバイライトが点灯するまで Power (パワー) ボタンを押します。

セルフチェックの実行中、スタンバイライトはオレンジになっています。スタンバイ ライトが緑になり (モードセレクタを [撮影] に設定すると)、カメラの撮影準備が整います。

撮影モードになると、液晶画面にステータス バーが数秒間表示されます。ステータス バーのアイコンについては、7 ページ を参照してください。

2 カメラをオフにするには、スタンバイライトが消えるまで Power (パワー) ボタンを押します。

カメラは実行中の保存、消去、またはコピー操作を完了してからオフになります。

注意 : カメラを最初にオンにしたとき、表示言語と日付 / 時刻を設定する必要があります (28 ページを参照)。電池を長時間取り出していた場合は、日付 / 時刻を再設定する必要があります。

電池のレベルを確認する

撮影前に電池のパワー レベルを確認してください。電池の使用については、66 ページ を参照してください。

1 カメラをオンにします。
2 液晶画面に表示される電池のステータス シンボルを確認します。

フル —電池に十分パワーがあります。

低下 —すぐに電池を交換するか、充電する必要があります。

消耗 (点滅) —電池が弱すぎてカメラに電源が入りません。電池を交換するか、充電してください。

電池が切れると、スタンバイ ライトが赤で 5 秒間点滅してからカメラがオフになります。

電池に関する注意

電池の寿命とカメラの信頼性を損なわないようにするために、アルカリ電池の使用は避けてください：

次の行為は電池の寿命を短くします：

- 液晶画面をビューファインダーとして使用する (12 ページ を参照)
- 液晶画面で画像を再生する (13 ページ を参照)
- フラッシュを使い過ぎる

注意：KODAK EASYSHARE カメラ ドックを使用している場合は、カメラをドックに置いてバッテリー パックを常時充電してください。EASYSHARE カメラ ドックの使い方の詳細は、41 ページ を参照してください。

自動パワーダウンによる節電

パワーダウン機能は、カメラを操作していないときに液晶画面やカメラの電源をオフにして、電池の寿命を延ばします。

モード	電池使用時	ドッキング時
撮影	液晶画面は 1 分後に消え、カメラは 5 分後にオフになります。	液晶画面は 20 分後に消え、カメラはオンのままになります。
再生	カメラは 5 分後にオフになります。	カメラはオンのままになります。
設定	カメラは 5 分後にオフになります (スライド ショー実行中を除く)。	
PC 接続	カメラは 5 分後にオフになります。	

カメラのステータスを確認する

撮影モードで Select (選択) ボタンを押すと、カメラのどの設定がアクティブであるかをいつでも確認できます。

1 モード セレクタを [撮影] にスライドしてカメラをオンにします。

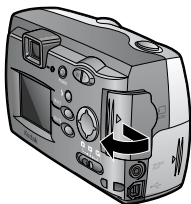
2 Select (選択) ボタンを押します。

この瞬間、液晶画面に現在のカメラのステータスが表示されます。アイコンが表示されない場合は、カメラのその機能が現在アクティブでないことを意味します。

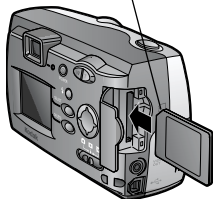
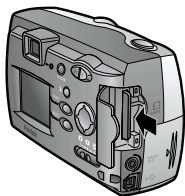
ステータス バーのアイコン

自動 強制発光 赤目軽減 オフ	高画質 標準画質	9999	
フラッシュ	画質	残りの画像数	日付スタンプ

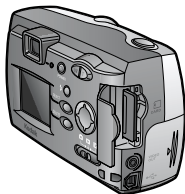
電池フル	電池低下	電池消耗 (点滅)

オプションの MMC/SD カードを挿入する

カードを挿入するには

1 カメラをオフにします。
2 カード カバーを開きます。
3 カードを図のような向きにします。
4 カードをスロットに押し込んでコネクタを定位置に収めます。カバーを閉じます。

注意：
カードは一方向にしか挿入できません。無理に押しこむと、カメラが壊れることがあります。

Secure Digital または MultiMedia のロゴのある正規のカードのみを使用してください。
記憶容量については、69 ページ を参照してください。

カードを取り出すには

1 カメラをオフにします。
2 カード カバーを開きます。
3 カードの端を押してから離します。カードの一部がイジェクトしたら、カードを取り出します。

注意：
スタンバイ ライトが点滅しているときは、カードの出し入れは避けてください。画像、カード、またはカメラが損傷することがあります。

内蔵メモリまたはリムーバブル メモリを選択する

MMC/SD カードがカメラに挿入されている場合、新しく撮る写真はカードに保存されます。カードが挿入されていない場合は、内蔵メモリに保存されます。

注意 : 画像を内蔵メモリに保存してから、MMC/SD カードにコピーすることもできます (26 ページ を参照)。

画像の場所を確認する

モード セレクタ

1 モード セレクタを [再生] にスライドします。

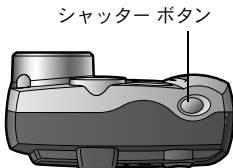
保存場所アイコンは、画像がある場所を示しています。

— MMC/SD カードに保存されています。

— 内蔵メモリに保存されています。

2 写真を撮影する

写真を撮影する

モード セレクタ

シャッター ボタン
1 モード セレクタを [撮影] にスライドしてカメラをオンにします。
2 ビューファインダーを使って被写体をフレームに入れるか、[プレビュー] をオンにして (12 ページを参照) 液晶画面を使用します。
3 シャッター ボタンを途中まで押して露出を設定します。
4 シャッター ボタンを下まで完全に押して写真を撮ります。

写真の保存中は、スタンバイ ライトが緑で点滅します。

フラッシュの充電中は、スタンバイ ライトがオレンジで点滅します。フラッシュが必要な場合は、フラッシュの充電が完了してから次の写真を撮ってください。

注意 :
スタンバイ ライトが点滅しているときは、MMC/SD カードの出し入れを避けてください。画像、MMC/SD カード、またはカメラが損傷する場合があります。

画像を液晶画面でプレビューする

プレビュー機能がオンのときは、液晶画面をビューファインダーとして使用できます。

注意 : デジタル ズーム (15 ページを参照) 機能を使用している場合は、プレビューが必要になります。

プレビューをオンにするには :

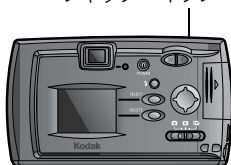
1 モード セレクタを [撮影] にスライドします。

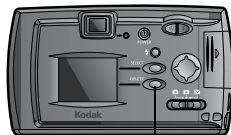
2 Select (選択) ボタンを押します。
  液晶画面にライブの画像とステータス バーが表示されます。

3 被写体を液晶画面の中央に配置し、シャッター ボタンを途中まで押して露出を設定します。シャッター ボタンを下まで完全に押して写真を撮ります。

4 プレビューをオフにするには、Select (選択) ボタンを 2 回押します。

撮影直後の画像を表示する

クイックビュー機能は、撮影直後に画像を液晶画面に表示します。画像が表示されている間に消去すると、記憶媒体の容量を節約することができます。

シャッター ボタンを押して写真を撮ります。

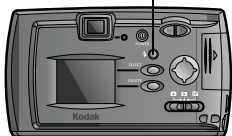
画像は アイコンと一緒に液晶画面に数秒間表示されます。

撮影直後の画像を消去するには :

1. が表示されている間に Delete (消去) ボタンを押します。
2. 画面の指示に従います。

注意 :

- クイックビューをオフにする方法は、23 ページ を参照してください。
- プレビューがオンのときは、クイックビューもオンになります (クイックビューの設定とは無関係です)。

フラッシュを使用する

夜間、屋内、または曇った日の屋外撮影には、フラッシュを使用します。フラッシュは 0.8 ～ 2.4 m の範囲で効果があります。

ボタンを繰り返し押して、フラッシュのオプション間をスクロールします。

液晶画面のステータス バーに表示されているフラッシュ アイコンが、アクティブなオプションです。

自動フラッシュ —人物以外の被写体に使用します。

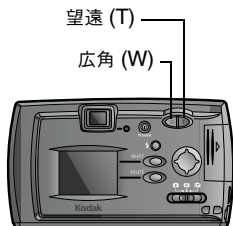
強制発光 —被写体の後方から明るい光が差しているときに使用します。

赤目軽減 —人物や動物に使用します

オフ —その場の照明で撮影する場合や、フラッシュが禁止されている場所で使用します。

注意 : フラッシュのオプションはすべて、カメラをオフにしたときに [自動] に戻ります。

ズームを使用する

このカメラでは、2 倍の光学ズームと 2 倍のデジタル ズームで写真を拡大できます。

1 モード セレクタを [撮影] にスライドします。

2 希望の光学ズーム倍率に達するまで望遠 (T) ボタンを押します。

光学ズームの画像はビューファインダーに表示されます (プレビューがオンになっている場合には液晶画面にも表示)。

3 写真を撮ります。

4 オプション : 光学ズームが 2 倍 (最大) に拡大されている場合に望遠 (T) ボタンを再び押すと、2 倍のデジタル倍率をさらに適用できます。

液晶画面がオフになっている場合は、オンになります。デジタル ズームの画像と「2 倍」の文字が表示されます。

注意 : デジタル ズームを使用すると、印刷したときの画質が低下することがあります。

5 液晶画面を使って被写体をフレームに入れます。写真を撮ります。

6 広角 (W) ボタンを押してデジタル ズームをオフにします。

その他の撮影設定

設定	ページ
画質を設定する	22 ページを参照
マクロ モードを設定する	22 ページを参照
クイックビューをオフにする	23 ページを参照
画像に日付を写し込む	29 ページを参照

3 画像を再生する

カメラの内蔵メモリまたは MMC/SD カードに保存された画像を表示して処理するには、再生モード ▶ を使用します。

液晶画面に画像を表示する

モード セレクタ

1 モード セレクタを [再生] ▶ にスライドします。

カメラが内蔵メモリまたは MMC/SD カード *(10 ページを参照)* *にアクセスして、最後に撮影した画像を表示します。*

2 ◀/▶ ボタンを押して、画像を前後にスクロールします。

3 再生モードを終了するには、モード セレクタを [撮影] 📷 または [設定] ☑ にスライドします。

画像と一緒に表示されるアイコンが、適用されている機能です。

[アイコン]	9999	📷 内蔵メモリ MMC/SD カード
プリント指定	フレーム番号	画像の場所

★★ 高画質 ★ 標準画質	[アイコン]	[アイコン]	[アイコン]
画質	電池フル	電池低下	電池消耗

画像を消去する

カードから画像を消去するには、カードを挿入します。内蔵メモリから画像を消去するには、カードを取り出します。

1 モード セレクタを [再生] ▶ にスライドします。
2 ◀/▶ ボタンを押して、消去する画像を表示します。
3 消去ボタンをクリックします。
4 消去オプションをハイライトします :
   - 全画像 : 内蔵メモリまたはカード上のすべての画像を消去します。
   - なし : 表示されている画像に戻ります。
   - この画像 : 表示されている画像を消去してから、次の画像を表示します。
5 Select (選択) ボタンを押して、画面の指示に従います。

印刷する画像を選択する

MMC/SD カード上の画像を選択して印刷するには、プリント指定機能を使用します。

注意 : プリント指定機能を使用できるのは、MMC/SD カードに保存されている画像のみで、内蔵メモリに保存されている画像には使用できません。

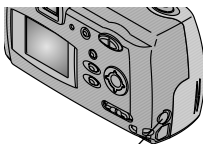
プリント指定を作成する

1 モード セレクタを [再生] ▶ にスライドし、希望の画像が表示されるまでスクロールします。
2 ▲/▼ ボタンを押して、希望の枚数を選択します。

解像度とプリント サイズ

設定	センサーの解像度 (ピクセル)	最大奨励プリント サイズ (インチ)
高画質	1280 x 960	最大 5 x 7
高画質 (2 倍デジタル ズームを使用)	640 x 480	最大 3 x 5
標準画質	640 x 480	最大 3 x 5

スライド ショーを実行する

画像は、カメラの液晶画面、テレビの画面、またはビデオ入力ポートのある外部ビデオ装置で表示できます。

テレビでスライド ショーを実行するには：

- ビデオ ケーブル (カメラに付属) をカメラのビデオ出力ポートから、テレビのビデオ入力ポートに接続します。
- ビデオ入力の設定の詳細は、お使いのテレビの説明書を参照してください。

カメラの液晶画面がオフになり、テレビの画面がカメラのディスプレイとして機能します。

スライド ショーを開始する

1 モード セレクタを [再生] ▶ にスライドし、Select (選択) ボタンを押します。

内蔵メモリまたはカード内の画像が 1 枚ずつ 5 秒間隔で表示されます。

2 スライド ショーをキャンセルするには、Select (選択) ボタンを押します。

その他の再生設定

機能	ページ
間隔を選択してスライド ショーを開始する	24 ページを参照
画像を内蔵メモリからカードにコピーする	26 ページを参照

4 カメラ設定をカスタマイズする

カメラの設定をカスタマイズするには、モード セレクタを [設定] にスライドします。

設定オプション

	撮影オプション (22 ページ)		フォーマット (27 ページ)
	再生オプション (24 ページ)		言語 (28 ページ)
	コピー (26 ページ)		日付 / 時刻 (28 ページ)
	カメラ情報 (26 ページ)		

撮影オプション

画質を設定する

1 モード セレクタを [設定] にスライドします。
2 ◀/▶ ボタンを押して、[撮影オプション] アイコンをハイライトし、▲/▼ ボタンを押して [画質] をハイライトします。Select (選択) ボタンを押します。
3 希望の画質設定をハイライトし、Select (選択) ボタンを押します。
   - 小さいプリント サイズ、メール送信、画面表示には [標準] (640 x 480) ☆ が適しています。画像は低解像度で、ファイル サイズは小さくなります。
   - 複雑な画像や大きいプリント サイズには、[高画質] (1280 x 960) ☆☆ が適しています。

   この設定は、次に変更するまでそのまま使用されます。

マクロを設定する

レンズから 25 cm までの至近距離の撮影には [マクロ] 設定を使用します。

1 モード セレクタを [設定] にスライドします。
2 ◀/▶ ボタンを押して [撮影オプション] アイコンをハイライトし、▲/▼ ボタンを押して [マクロ] をハイライトします。Select (選択) ボタンを押します。
3 [オン] をハイライトし、Select (選択) ボタンを押します。

クイックビューのオンとオフを切り替える

1 モード セレクタを [設定] にスライドします。
2 ボタンを押して [撮影オプション] アイコンをハイライトし、ボタンを押して [クイックビュー] をハイライトします。Select (選択) ボタンを押します。
3 希望の設定をハイライトし、Select (選択) ボタンを押します。
この設定は、次に変更するまでそのまま使用されます。

再生オプション

間隔を選択してスライド ショーを開始する

表示間隔は 5、10、30、60 秒に設定できます。

1 モード セレクタを [設定] にスライドします。
2 ◀/▶ ボタンを押して [再生オプション] ▶ アイコンをハイライトし、▲/▼ ボタンを押して [スライド ショー] をハイライトします。Select (選択) ボタンを押します。
3 画像 1 枚を何秒間表示するかを選択し、Select (選択) ボタンを押します。

   指定した間隔で、内蔵メモリまたは MMC/SD カード内の各画像が一度ずつ表示されます。この設定はカメラをオフにするまで維持されます。

4 スライド ショーをキャンセルするには、[選択] を押します。

ビデオ出力を設定する

カメラのビデオ信号を在住地区で適用されている規格に合わせるには、ビデオ出力機能を使用します。スライド ショーをテレビまたはその他の外部装置で実行するには、ビデオ出力を正しく設定する必要があります。

1 モード セレクタを [設定] にスライドします。
2 ◀/▶ ボタンを押して [再生オプション] ▶ アイコンをハイライトします。
3 ▲/▼ ボタンを押して [ビデオ出力] をハイライトし、Select (選択) ボタンを押します。
4 希望の設定をハイライトし、Select (選択) ボタンを押します。
   - NTSC: ヨーロッパ以外のほとんどの国で使用されている規格です。日本と米国は NTSC を使用しています。
   - PAL: ヨーロッパ諸国で使用されている規格です。

   この設定は、次に変更するまでそのまま使用されます。

プリント指定

この機能を使用する前に、MMC/SD カードがカメラに挿入されていることを確認してください。

1 モード セレクタを [設定] にスライドします。
2 ◀/▶ ボタンを押して [再生オプション] アイコンをハイライトし、▲/▼ ボタンを押して [プリント指定] をハイライトします。Select (選択) ボタンを押します。
3 [全画像] (MMC/SD カードに保存されているすべての画像に適用されます)、[取り消し]、または [次の画像から] (現在の画像はそのままで、次の画像から適用されます) のいずれかを選択します。Select (選択) ボタンを押します。
4 ▲/▼ ボタンを押して、希望の枚数を選択します。Select (選択) ボタンを押します。

画像をコピーする

コピー機能を使うと、カメラの内蔵メモリから MMC/SD カードに画像をコピーできます。

注意 : この機能を使用する前に、MMC/SD カードがカメラに挿入されていることを確認してください。

1 モード セレクタを [設定] にスライドします。
2 ◀/▶ ボタンを押して [コピー] メニュー をハイライトし、Select (選択) ボタンを押します。

*進行状況バーが表示され、画像のコピーが完了すると消えます。コピー後の画像の番号については、**70 ページ を参照してください。*

注意 : 画像はコピーされるだけで、移動はしません。コピー後に画像を内蔵メモリから消去するには、手動で消去してください (18 ページ を参照)。

カメラ情報を表示する

カメラ情報機能は、カメラに関する情報を表示します。

1 モード セレクタを [設定] にスライドします。
2 ◀/▶ ボタンを押してカメラ情報 をハイライトします。

情報には、カメラのモデルや現在のファームウェア バージョンが含まれます。

カメラのメモリまたは MMC/SD カードをフォーマットする

カメラの内蔵メモリが破損した場合は、メモリをフォーマットする必要があります。MMC/SD カードが破損した場合や、別のデバイスで使用した場合は、カードをフォーマットする必要があります。フォーマットが必要になると、液晶画面にエラー メッセージが表示されます。エラー メッセージについては、55 ページを参照。

注意：
フォーマットすると、内蔵メモリまたは MMC/SD カードからすべての内容が消去されます。フォーマット中に MMC/SD カードを取り出すと、カードが破損する可能性があります。

1 モード セレクタを [設定] にスライドします。
2 ◀/▶ ボタンを押して、フォーマット メニューをハイライトします。
3 使用するフォーマット オプションをハイライトします：
   - カードのフォーマット : MMC/SD カード上の情報をすべて消去し、カードをカメラで使用できるように再フォーマットします。
   - 内蔵メモリのフォーマット : カメラの内蔵メモリ内の情報をすべて消去し、メモリを再フォーマットします。
   - フォーマットしない : 何も消去せずに終了します。
4 Select (選択) ボタンを押します。
5 [フォーマットの継続] をハイライトし、Select (選択) ボタンを押します。

   フォーマットが完了すると、[設定] メニューが表示されます。

注意 : いったんフォーマットが始まると、この機能を元に戻す方法はありません。

言語を選択する

言語機能を使用すると、メニューや画面のメッセージを別の言語で表示できます。

1 モード セレクタを [設定] にスライドします。
2 ◀/▶ ボタンを押して [言語] メニューをハイライトし、Select (選択) ボタンを押します。
3 使用する言語オプションをハイライトします。
4 Select (選択) を押して変更を受け入れ、[設定] メニューに戻ります。

選択した言語で画面のテキストが表示されます。この設定は、次に変更するまでそのまま使用されます。

日付 / 時刻の設定

日付と時刻を設定する

画像に日付を入れる場合は、日付と時刻を設定します (29 ページ を参照)。

1 モード セレクタを [設定] にスライドします。
2 ◀/▶ ボタンを押して [日付/時刻] メニューをハイライトします。
3 ▲/▼ ボタンを押して [設定] をハイライトし、Select (選択) ボタンを押します。

日付の形式は DD/MM/YYYY です。時刻は 24 時間形式で表示されます。

4 フィールド間を移動するには、◀/▶ ボタンを押します。日付と時刻の設定を調整するには、▲/▼ ボタンを押します。
5 Select (選択) ボタンを押して、変更を適用します。

日付 / 時刻の形式を選択する

1 モード セレクタを [設定] にスライドします。
2 ◀/▶ ボタンを押して [日付/時刻] メニューをハイライトします。
3 ▲/▼ ボタンを押して [表示] をハイライトし、Select (選択) ボタンを押します。
4 ▲/▼ ボタンを押して、希望の日付形式をハイライトします。
5 Select (選択) ボタンを押します。

日付を画像に写し込む

画像に日付を入れるには、[日付スタンプ] を設定します。

1 カメラの日付と時刻が正しいことを確認します (28 ページを参照)。
2 モード セレクタを [設定] にスライドします。
3 ◀/▶ ボタンを押して [日付 / 時刻] アイコンをハイライトし、▲/▼ ボタンを押して [スタンプ] を選択します。Select (選択) ボタンを押します。
4 [オン] または [オフ] を選択します。
5 Select (選択) ボタンを押します。

[日付スタンプ] がオンの間は、撮影した画像の右下に現在の日付が写し込まれます。この設定は、次に変更するまでそのまま使用されます。

5 ソフトウェアをインストールする

画像をカメラからコンピュータに転送する前に、必ず KODAK ピクチャー ソフトウェア CD からソフトウェアをインストールしてください。

MACINTOSH OS X に関する通知

KODAK デジタル カメラ接続ソフトウェアまたは KODAK ピクチャー トランスファー ソフトウェアはインストールしないでください。 OS X にはこれらのアプリケーション両方の機能を提供する画像取り込みアプリケーションが付属しています。この 2 つのアプリケーションは不要で、MACINTOSH OS X にインストールしても機能しません。カメラを USB ケーブルまたは KODAK EASYSHARE カメラ ドックに接続すると、OS X の画像取り込みアプリケーションが自動的に起動します。

画像の表示、編集、共有を行うには、**KODAK ピクチャー ソフトウェアをインストールできます。** インストールしたピクチャー ソフトウェアは OS X ではクラシック モードで実行されます。

ソフトウェアをインストールする

1 始める前に、実行中のソフトウェア アプリケーションをすべて閉じてください。

2 KODAK ピクチャー ソフトウェア CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

3 次の手順でソフトウェアをロードします。

WINDOWS 環境のコンピュータ —通常は、インストールの最初の画面が自動的に表示されます。表示されない場合は、[スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] を選択し、CD が入っているドライブの文字に続いて「¥setup.exe」と入力します。例 :**d:¥setup.exe**

MACINTOSH コンピュータ —インストール画面が自動的に表示されたら、[続行] をクリックします。

4 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。インストールの完了後、要求に応じてコンピュータを再起動します。

CD に収録されているアプリケーションをすべてインストールするには、[標準] を選択します。

インストールするアプリケーションを選択するには、[カスタム] を選択します。CD に含まれているアプリケーションの説明は、33 ページに記載されています。

注意 : 登録を行うよう促されたら、オンラインでカメラとソフトウェアを登録してください。これを行うと、ソフトウェアのアップグレード情報が通知され、カメラの付属製品を登録することができます。オンライン登録を行うには、インタネット サービス プロバイダに接続している必要があります。

カメラに付属のソフトウェア

KODAK ピクチャー ソフトウェア CD には次のソフトウェアが含まれています：

KODAK ピクチャー トランスファー ソフトウェア

画像をカメラからコンピュータに自動的に転送し、画像ファイルを分類してファイル名を変更します。詳細は、35 ページ を参照してください。

KODAK ピクチャー ソフトウェア

画像をコンピュータに転送した後、KODAK ピクチャー ソフトウェアを使うと次のことができます：

- 画像の表示と共有。
- 特殊効果の追加、カスタム スライド ショーの作成、赤目の修正、トリミングや回転、その他いろいろ。
- 友達や家族へのメール送信

詳細は、36 ページ を参照してください。

KODAK デジタル カメラ接続ソフトウェア

KODAK デジタル カメラ接続ソフトウェアは、カメラをリムーバブル ドライブとしてデスクトップに表示します。他のリムーバブル ドライブの内容にアクセスする場合と同じ要領でカメラ内の画像にアクセスして、転送、コピー、移動、名前の変更、消去などを実行できます。詳細は、38 ページ の「画像を手動で転送する」を参照してください。

APPLE QUICKTIME ソフトウェア

QUICKTIME を使用すると、KODAK ピクチャー ソフトウェアで作成したポータブル スライド ショー (KODAK ピクチャー ロード ショー) を再生することができます。詳細は、QUICKTIME のオンライン ヘルプを参照してください。

注意：CD にはその他のソフトウェアが含まれている場合もあります。それぞれのアプリケーションが提供するオンライン ヘルプを参照してください。

コンピュータのシステム必要条件

画像の転送や編集をスムーズに行うには、最低限次の条件を備えたシステムを使用することをお勧めします：

WINDOWS 環境のシステム必要条件

- WINDOWS 98、98SE、ME、または 2000 用のパソコン
- CD-ROM、200 MHz 以上のマイクロプロセッサを搭載したパソコン
- USB ポート
- 解像度 640 x 480 以上 (1024 x 768 を推奨) のカラー ディスプレイモニタ (16 ビット High Color または 24 ビット True Color を推奨)
- 32 MB の使用可能 RAM、70 MB のハード ディスク空き容量

MACINTOSH システム必要条件

- PowerPC 搭載の MACINTOSH コンピュータ と CD-ROM ドライブ
- オペレーティング システム 8.6、9.0x、9.1、X
- USB ポートまたは MMC/SD カード リーダー
- 解像度 640 x 480 以上 (1024 x 768 を推奨) のカラー ディスプレイモニタ (約 32,000 または約 1 ,670 万を推奨)
- 64 MB の使用可能 RAM、100 MB のハード ディスク空き容量

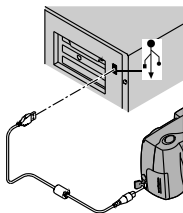
6 コンピュータに画像を転送する

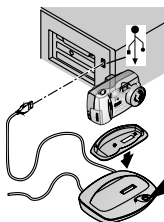
画像を転送する前に

カメラを接続して画像を転送する前に、KODAK ピクチャー ソフトウェア CD からソフトウェアをインストールしたことを確認してください (32 ページ を参照)。

コンピュータに接続する

付属の USB ケーブルまたはオプションの KODAK EASYSHARE カメラドックを使うと、カメラからコンピュータに画像を転送できます。

USB ケーブルを使った接続

1 カメラをオフにします。
2 USB ケーブルのラベル ( ) の付いている端を、コンピュータの USB ポート (ラベル付き) に差し込みます。
  ポートにラベルが付いていない場合は、コンピュータの説明書を参照してください。
3 USB ケーブルのもう一方の端を、カメラの USB ポート (ラベル付き) に差し込みます。
4 カメラをオンにします。

EASYSHARE カメラドックで接続する

1 カメラの底面にある接続カバーを開きます。
2 EASYSHARE カメラドックにカメラを置きます。
3 接続ボタンを押します。

緑のライトが点滅している間、ファイルを転送できます。

詳細は、「EASYSHARE カメラドックを使用する」(41 ページ) を参照してください。

画像を転送する

前の項 (35 ページ の「コンピュータに接続する」) で説明した手順で接続すると、KODAK ピクチャートランスファーソフトウェアが自動的に開きます。

Kodak ピクチャー
転送ソフトウェアによ
うこそ

WINDOWS 環境のコンピュータに転送する

- [転送] をクリックして、画像をコンピュータに転送します。

  画像はコンピュータのデフォルトの場所 C: ¥Kodak Pictures に転送されます。

- デフォルトの場所を変更するには、[転送] をクリックする前に設定 をクリックします。

MACINTOSH コンピュータに転送する

- [自動転送] ラジオ ボタンを選択し、[転送] をクリックします。
  [自動転送] では、画像の保存場所にあるすべての画像がコンピュータにコピーされます。
- または、[手動転送] ラジオ ボタンをクリックし、[転送] をクリックします。
  [手動転送] では、それぞれの画像を確認しながら、名前を変更したり、コンピュータの転送先フォルダを選択したりできます。

KODAK ピクチャー ソフトウェアの自動起動をオフにする

KODAK ピクチャートランスファーおよびピクチャー ソフトウェアが自動的に起動しないようにするには、自動起動機能をオフにします。この操作方法、およびピクチャートランスファー ソフトウェアに関する詳細は、オンライン ヘルプをご覧ください：

WINDOWS 環境のコンピュータの場合は、タスクバーの [画像転送] アイコンを右クリックし、*[このアプリケーションについて更に学習する]* を選択します。

MACINTOSH コンピュータの場合は、アプリケーション ウィンドウにある [ヘルプ] アイコンをクリックします。

画像を編集する

画像の転送が完了するとピクチャートランスファー ソフトウェアが閉じて、KODAK ピクチャー ソフトウェアが開きます。

[KODAK ピクチャー ソフトウェア] ウィンドウで画像のサムネイルをクリックして、メイン ウィンドウに表示します。次の操作手順の詳細は、オンライン ヘルプ ボタンをクリックしてください。

- 特殊効果の追加、カスタム スライド ショーの作成、赤目の修正、トリミング、回転
- 画像のメール送信
- プリンタへの印刷

画像を手動で転送する

KODAK デジタル カメラ接続ソフトウェアを使用すると、カメラの画像に直接アクセスして、次のことができます : 画像のサムネイルを表示してブラウズする、全画像または選択した画像をコンピュータにコピーする、他社製アプリケーションで画像を直接開く、保存場所から画像を削除する、カメラの内蔵メモリまたは MMC/SD カードをフォーマットする、選択した画像の情報を見る。

カメラをコンピュータに接続し (35 ページ を参照)、次の手順で画像にアクセスします。

WINDOWS 環境のコンピュータ

- カメラをコンピュータに接続すると (35 ページ を参照)、[マイ コンピュータ] ウィンドウにカメラがリムーバブル ドライブ アイコンとして表示されます。
- [マイ コンピュータ] ウィンドウでカメラのアイコンをダブルクリックします。
- [カメラ] ウィンドウが開き、カメラの内蔵メモリと MMC/SD カードがサブフォルダとして表示されます。

MACINTOSH コンピュータ

- デスクトップに、カメラの内蔵メモリと MMC/SD カードが別々のアイコンとして表示されます。
- アイコンが表示されない場合は、カメラをオフにしてからもう一度オンにします。

画像の名前と場所の詳細については、70 ページ を参照してください。

KODAK デジタル カメラ接続ソフトウェアのオンライン ヘルプ

デジタル カメラ接続ソフトウェアの使い方の詳細は、オンライン ヘルプをご覧ください：

WINDOWS コンピュータの場合は、[マイ コンピュータ] ウィンドウでカメラのアイコンを右クリックし、[カメラ ヘルプ] を選択します。

MACINTOSH システムの場合は、[Finder] メニュー バーで [カメラ] を選択し、続いて [カメラ ヘルプ] を選択します。

画像を印刷する

KODAK ピクチャー ソフトウェアから

KODAK プレミアム画像用紙を使って、画像を自宅のプリンタで印刷します。

MMC/SD カードから

- MMC/SD カードを最寄りの写真店に持参して、印刷してもらいます。
- KODAK Picture Maker キオスクに行って、自分でプリントを作成します。

奨励されるプリント サイズについては、19 ページの「解像度とプリント サイズ」を参照してください。

7 EASYSHARE カメラ ドックを使用する

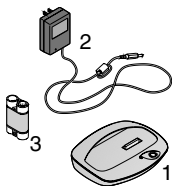
KODAK EASYSHARE カメラ ドックを使うと、画像をコンピュータに簡単に転送できます。また、カメラ ドックは付属の KODAK ニッケル水素充電式バッテリー パック用高速バッテリー チャージャーとしてカメラに電力も供給します。

バッテリー パックを充電し、いつでも撮影できる状態にしておくには、使っていないときもカメラをカメラ ドックに置いたままにください。

注意 : KODAK DX シリーズの全カメラに付属しているドック インサートは、EASYSHARE カメラ ドックにカメラをぴったりはめるために使用します。カメラにインサートが同梱されていることを確かめてください。

EASYSHARE カメラ ドックがカメラに含まれていなかった場合は、アクセサリとして別途購入できます。詳細については、最寄りの KODAK 販売店にお問い合わせいただくか、KODAK の Web サイト http://www.kodak.com/go/accessories をご覧ください。

EASYSHARE カメラ ドックのパッケージ内容

EASYSHARE カメラ ドックには次のものが含まれています。

1 EASYSHARE カメラ ドック

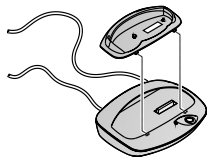
2 AC 電源アダプタ

この図のアダプタと異なる場合もあります。

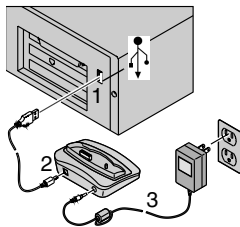
3 KODAK ニッケル水素充電式バッテリー パック

4 クイック スタート ガイド (ここには掲載されていません)

ドック インサートを装着する

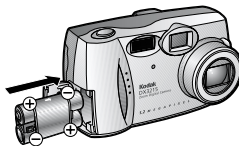
KODAK DX シリーズにはドック インサートが同梱されています。これはカメラを EASYSHARE カメラ ドックにぴったり収めるために使用します。

1 インサートの前面のタブを EASYSHARE カメラ ドックの溝のスロットに入れます。
2 インサートを溝に差し込んで固定します。

EASYSHARE カメラ ドックを接続する

ソフトウェアを KODAK ピクチャー ソフトウェア CD からインストールしたことを確認してください (32 ページ を参照)。カメラを EASYSHARE カメラ ドックから取り外します。

1 USB ケーブル (カメラに付属) のラベル の付いている端を、コンピュータの USB ポート (ラベル付き) に差し込みます。
2 USB ケーブルのもう一方の端を、カメラ ドック背面の USB コネクタ (ラベル付き) に差し込みます。
3 AC アダプタ (ドックに付属) をドックの背面に差し込んでから、電源に差し込みます。

AC アダプタは図と異なっていたり、プラグが余分に付いている場合があります。電源コンセントの種類に合うプラグを使用してください。

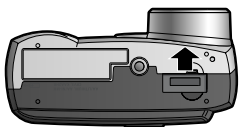
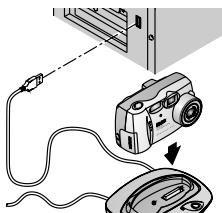
画像を転送するときは、EASYSHARE カメラ ドックを接続したままにしてください。バッテリー パックを充電したり、カメラに電力を供給するときは、AC アダプタを接続したままにしてください。

バッテリー パックをカメラに取り付ける

1 カメラの側面にある電池カバーを開きます。
2 図のようにして、バッテリー パックを取り付けます。
3 電池カバーを閉じます。

注意：
バッテリー パックはこの方向でしかカメラに挿入できません。バッテリー パックが簡単に入らない場合は、向きを変えてもう一度試してください。無理に押し込むと、カメラが壊れる可能性があります。

注意：バッテリー パック内の電池は充電されていません。充電方法については、44 ページ を参照してください。

カメラをドッキングする

カメラからコンピュータに画像を転送したり、バッテリー パックを充電する際は、カメラを EASYSHARE カメラ ドックに配置 (ドッキング) して、カメラとドックを接続します。

1 カメラを**オフ**にします。
2 カメラの底面にあるドック接続カバーをスライドして開きます。

3 カメラ ドックにカメラを置き、下方に押してコネクタを定位置に固定します。ドックのロケータ ピンがカメラの三脚取り付け口にはまります。

コネクタが正しく固定されると、カメラ ドックのライトが緑になります。
これで、カメラはドックから電力を得ることができます。

注意 : バッテリー パックの充電が必要な場合は、カメラ ドックのライトが赤に変わって充電が始まります。

バッテリー パックを充電する

バッテリー パック内の電池は充電されていません。

1 カメラを**オフ**にします。
2 カメラにバッテリー パックが取り付けられていることを確認します。
3 カメラを EASYSHARE カメラ ドックにドッキングします (43 ページ を参照)。
   - 数秒後に充電が始まります。
   - 充電中はドックのライトが赤になり、バッテリー パックが完全に充電されると緑になります。
   - 完全に充電されるまで、約 2 時間半かかります。バッテリー パックが完全に充電されたら、カメラをドックに置いたままにしてください。バッテリー電力の検知が継続し、必要に応じて充電が再開されます。このような状況では、充電中に赤のライトがつきません。
   - カメラをオンにすると、充電は止まります。

注意 : EASYSHARE カメラ ドックで充電できるのは付属のニッケル水素充電式バッテリー パックのみです。他の種類の電池を使用しているカメラをドックに置くと、充電式かどうかに関わらず充電は行われません。

画像を転送する

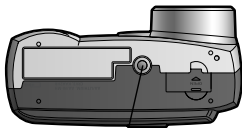
画像をカメラからコンピュータに転送するには

1 カメラを EASYSHARE カメラ ドックにドッキングします。
2 接続ボタンを押します。
   - コンピュータへの接続がアクティブな間は、カメラ ドックのライトが緑になります。

- コンピュータで KODAK ピクチャー トランスファー ソフトウェアが自動的に開き、画像が転送されます。緑のライトが点滅している間は、ファイルを手動で転送することもできます (38 ページ)。
- 次に KODAK ピクチャー ソフトウェアが開き、コンピュータ上で画像を処理できるようになります。

注意 : 画像を転送するときは、カメラを EASYSHARE カメラ ドックに置いたままにしてください。転送が完了してから 8 分後に、ドックがバッテリー電力を監視し、必要に応じて充電します。

三脚を使用する

三脚を使用すると、カメラが安定します。三脚はドックではなく、カメラの三脚取り付け口に直接接続します。

三脚取り付け口はカメラの底面にあります。

8 トラブルシューティングの問題

その他の技術情報については、KODAK ピクチャー ソフトウェア CD に収録されている ReadMe ファイルをお読みください。トラブルシューティング情報のアップデートは、KODAK の Web サイト http://www.kodak.com をご覧ください。

トラブルシューティング – カメラ

MMC/SD カード		
問題	**原因**	**解決方法**
カメラが MMC/SD カードを認識しない。	認定されていない MMC/SD カードを使用している。	認定されている MMC/SD カード (8 ページ) を購入します。
	MMC/SD カードが壊れている。	MMC/SD カードを再フォーマット (27 ページ) します。注意 : フォーマットすると、カードに保存されている画像はすべて消去されます。
	MMC/SD カードがカメラに挿入されていないか、正しく挿入されていない。	MMC/SD カードを挿入します (8 ページ)。

MMC/SD カード		
問題	**原因**	**解決方法**
MMC/SD カードの挿入または取り出しの際に、カメラが動かなくなる。	MMC/SD カードの挿入または取り出しの際に、カメラがエラーを検出する。	カメラをオフにしてから、もう一度オンにします。MMC/SD カードを出し入れするときは、カメラがオフになっていることを確認してください。
アクセス エラー	SD カードがロックされている。	SD カード ロックをロック解除位置にスライドします。

カメラの通信		
問題	**原因**	**解決方法**
コンピュータがカメラと通信できない。	コンピュータの USB ポートの設定に問題がある。	KODAK デジタル カメラ接続ソフトウェアのオンライン ヘルプ (33 ページ) にアクセスし、「はじめに」の「コンピュータへのカメラの接続」を参照してください。 または、http://www.kodak.com にアクセスし、[サービス& サポート] をクリックしてください。
	カメラの電源がオフになっている。	カメラをオンにします (4 ページ)。
	ノート型パソコンの高度なパワー マネージメント ユーティリティがバッテリの寿命を節約するためにポートを切断した。	ノート型パソコンの説明書に従って、パワー マネージメント機能をオフにします。
	USB ケーブルの接続が緩んでいる。	ケーブルをカメラとコンピュータのポートに接続し直します (35 ページ)。
	ソフトウェアがインストールされていない。	ソフトウェアをインストールします (32 ページ)。
	コンピュータで実行しているアプリケーションが多すぎる。	カメラをコンピュータから切断します。ソフトウェア アプリケーションをすべて閉じ、もう一度カメラを接続してから操作をやり直します。

カメラの通信		
問題	**原因**	**解決方法**
コンピュータがカメラと通信できない。	バッテリー モニターまたは類似のソフトウェアが常時稼動している。	KODAK ソフトウェアを起動する前に、そのソフトウェアを終了します。

カメラ		
問題	**原因**	**解決方法**
シャッター ボタンが機能しない。	カメラがオンになっていない。	カメラをオンにします (4 ページ)。
	カメラが画像を処理中で、スタンバイ ライトが点滅している。	ライトが点滅しなくなるのを待ってから、次の画像を撮影します。
	MMC/SD カードまたは内蔵メモリが一杯になっている。	画像をコンピュータに転送するか (36 ページ)、画像をカメラから消去するか (18 ページ)、メモリが十分にあるカードを挿入します。
画像の一部が欠けている。	撮影したときに、何かがレンズを遮っていた。	撮影するときは、手、指、その他の物体をレンズから遠ざけるようにします。
	撮影者の目または画像がビューファインダーの中央からずれていた。	画像をビューファインダーの中央に合わせるとき、被写体の周りにスペースを残しておきます。

カメラ		
問題	**原因**	**解決方法**
画像が暗すぎる。	フラッシュがオンになっていないか、機能しなかった。	フラッシュをオンにします (14 ページ)。
	被写体が遠すぎて、フラッシュの効果がない。	カメラと被写体の距離が 2.4 m 以内になるように移動します。
	被写体が明るい光の前にある (逆光)。	被写体の後ろから光が当たらないように、別の位置から撮影します。
カメラがオンにならない。	電池が切れているか、正しく取り付けられていない。	電池を交換するか、入れ直します (3 ページ)。

カメラ		
問題	**原因**	**解決方法**
画像が明るすぎる。	フラッシュが必要ない。	自動フラッシュに切り替えます (14 ページ)。
	フラッシュを使ったとき、被写体が近すぎた。	カメラと被写体の距離が 0.8 m 以上になるように移動します。
	ライト センサーが遮られている。	カメラを持つとき、手やその他の物体でライト センサーを遮らないようにします。
保存した画像が壊れている。	スタンバイ ライトが点滅している間に MMC/SD カードを取り出した。	カメラをオフにします。カードを取り出す前に、MMC/SD カードのアクセス ライトが点滅していないことを確認します。
撮影した後、残りの画像数が減らない。	残りの画像数を減らすだけの容量がその画像にない。	カメラは正常に動作しているので、撮影を継続してください。
MMC/SD カードの挿入または取り出しの際に、カメラが動かなくなる。	MMC/SD カードの挿入または取り出しの前に、カメラがオフになっていなかった。	カメラをオフにしてから、もう一度オンにします。MMC/SD カードの挿入または取り出しの前に、必ずカメラをオフにします。

カメラ		
問題	**原因**	**解決方法**
画像が鮮明でない。	レンズが汚れている。	レンズをクリーニングします (67 ページ)。
	撮影するときに、被写体が近すぎた。	カメラと被写体の距離が 0.8 m 以上になるように移動します。
	マクロ モードになっていて、被写体が遠すぎる。	設定を変更するか (22 ページ)、被写体に近づきます。
	撮影したときに、被写体またはカメラが動いてしまった。	撮影の際はぶれないようにカメラをしっかりと持つか、三脚を使用します (45 ページ)。
	十分な明るさがない。	フラッシュをオンにする (14 ページ) か、三脚を使用します (45 ページ)。
	被写体が遠すぎて、フラッシュの効果がない。	カメラと被写体の距離が 2.4 m 以内になるように移動します。
スライド ショーが外部ビデオ装置に映らない。	ビデオ出力の設定が間違っている。	カメラのビデオ出力設定 (NTSC または PAL、24 ページ) を調整します。
	外部装置の設定が間違っている。	外部装置の説明書を参照してください。

カメラのスタンバイ ライト カメラがオンになっていて撮影準備ができているときは、スタンバイ ライトが緑で点灯します。		
問題	**原因**	**解決方法**
スタンバイ ライトがオンにならず、カメラが機能しない。	カメラがオンになっていない。	カメラをオンにします (4 ページ)。
	電池が切れている。	電池を交換する (3 ページ) か、バッテリー パックを充電します。
スタンバイ ライトが赤で点滅する。	電池が残り少ない。	電池を交換する (3 ページ) か、バッテリー パックを充電します。
スタンバイ ライトが赤になる。	カメラの内蔵メモリまたは MMC/SD カードが一杯になっている。	画像をコンピュータに転送するか (36 ページ)、画像をカメラから消去するか (18 ページ)、メモリが十分にあるカードを挿入します。
スタンバイ ライトが緑で点滅する。	画像の処理中 (カメラに保存中) である。	そのまま待ちます。ライトが点滅しなくなったら、撮影を再開します。
	自動露出がロックされていない。	シャッター ボタンを離し、もう一度構図を定めます。
スタンバイ ライトがオレンジとグリーンで交互に点滅します。	フラッシュが充電されていない。	そのまま待ちます。ライトが点滅しなくなり、緑に変わったら撮影を再開します。

液晶画面のメッセージ		
メッセージ	**原因**	**解決方法**
メモリ カードのアクセス エラー。カードのフォーマットが必要です。	MMC/SD カードが壊れているか、別のデジタル カメラ用にフォーマットされています。	MMC/SD カードをフォーマットするか、交換します (27 ページ)。
アクセス エラー。カードが「読み取り専用」に設定されています。	SD カードがロックされている。	SD カード ロックをロック解除位置にスライドします。
内蔵メモリのアクセス エラー。メモリのフォーマットが必要です。	カメラの内蔵メモリが壊れています。	内蔵メモリをフォーマットします (27 ページ)。
メモリ カードが一杯です。画像をコピーできません。	MMC/SD カードに十分な空き領域がない。	写真を消去する (18 ページ) か、新しい MMC/SD カードを挿入します (8 ページ)。
内部メモリが一杯です。	カメラの内蔵メモリに空き領域がない。	内蔵メモリから画像を消去します (18 ページ)。

トラブルシューティング – EASYSHARE カメラドック

EASYSHARE カメラ ドック		
問題	**原因**	**解決方法**
画像がコンピュータに転送されない。	AC アダプタまたは USB ケーブルの接続が緩んでいる。	接続を調べます (35 ページ)。
	ソフトウェアがインストールされていない。	ソフトウェアをインストールします (32 ページ)。
	コンピュータで実行しているアプリケーションが多すぎる。	ソフトウェア アプリケーションをすべて閉じてから、もう一度試します。
	画像の転送中に EASYSHARE カメラ ドックからカメラを取り外した。	カメラをもう一度ドックに置き、接続ボタンを押します。
	接続ボタンを押さなかった。	接続ボタンを押します。

EASYSHARE カメラ ドックのインジケータ ライト		
ライトのステータス	**原因**	**解決方法**
緑のライト	カメラがドッキングしている。	カメラと EASYSHARE カメラ ドックは正常に動作しています。
赤のライト	EASYSHARE カメラ ドックがバッテリー パックを充電中である。	
緑の点滅	コンピュータと EASYSHARE カメラ ドック間の接続 (USB) がアクティブである。	
赤の点滅	バッテリー パックが正しく取り付けられていない。	バッテリー パックを取り付け直します (43 ページ)。
	バッテリー パックまたはコネクタ ピンが壊れている。	損傷がないか調べます。
	カメラとバッテリー パックが極度の高温か低温にさらされた。	カメラとバッテリー パックを徐々に常温に戻します。
	EASYSHARE カメラ ドック インサートが正しく取り付けられていない。	ドック インサートを正しく取り付けます (42 ページ)。

9 ヘルプを利用する

カメラや KODAK EASYSHARE カメラ ドックに関してヘルプが必要な場合は、多数のリソースをご利用いただけます。

- 47 ページの「トラブルシューティングの問題」
- ソフトウェア アプリケーションのオンライン ヘルプ
- ファックスによる製品情報
- 製品の購入元の販売店
- ワールド ワイド ウェブ
- テクニカル サポート

ソフトウェアのヘルプ

カメラに付属のソフトウェア アプリケーションに関するヘルプは、そのアプリケーションに付属のオンライン ヘルプから取得できます。

Kodak オンライン サービス

- ワールド ワイド ウェブ　http://www.kodak.com ([サポート＆サービス] をクリックしてください)

Kodak Fax サポート

米国およびカナダ	1-800-508-1531
ヨーロッパ	44-0-131-458-6962
イギリス	44-0-131-458-6962

電話カストマ サポート

KODAK ソフトウェアまたはカメラの操作に関するご質問は、カストマ サポート担当者に直接お問い合わせください。

電話をかける前に

電話でカストマ サポート担当者と話す前に、カメラをコンピュータに接続してコンピュータに向かい、次の情報をご用意ください。

オペレーティング システム ________________

プロセッサの速度 (MHz) ________________

コンピュータのモデル ________________

メモリの容量 (MB) ________________

表示されたエラー メッセージ ________________

インストール CD のバージョン ________________

カメラのシリアル番号 ________________

電話番号

- **米国** — 月曜日から金曜日の 9:00 a.m. ～ 8:00 p.m. (東部標準時) の時間帯に、フリー ダイヤル 1-800-235-6325 までおかけください。
- **カナダ** — 月曜日から金曜日の 9:00 a.m. ～ 8:00 p.m. (東部標準時) の時間帯に、フリー ダイヤル 1-800-465-6325 までおかけください。
- **ヨーロッパ** — 月曜日から金曜日の 9:00 ～ 17:00 (グリニッジ標準時 / 中央ヨーロッパ標準時) に、お住まいの地域の Kodak デジタル イメージング サポート センターのフリー ダイヤル番号、またはイギリスのフリー ダイヤル 44-0-131-458-6714 までおかけください。

❍ **米国、カナダ以外 —** 地域ごとの通話料金が課されます。

オーストラリア	1800 147 701
オーストリア	0179 567 357
ベルギー	02 713 14 45
中国	86 21 63500888 1577
デンマーク	3 848 71 30
アイルランド	01 407 3054
フィンランド	0800 1 17056
フランス	01 55 1740 77
ドイツ	069 5007 0035
ギリシャ	0080044125605
イタリア	02 696 33452
日本	81 3 5644 5500
韓国	82 2 708 5600
オランダ	020 346 9372
ニュージーランド	0800 440 786
ノルウェー	23 16 21 33
ポルトガル	021 415 4125
スペイン	91 749 76 53
スウェーデン	08 587 704 21
スイス	01 838 53 51
イギリス	0870 2430270
国際有料回線	+44 131 4586714
国際有料ファックス番号	+44 131 4586962

10 付録

この付録は、カメラ、電池、EASYSHARE カメラドック、MMC/SD カード、および付属アクセサリに関する技術的な資料としてご利用いただけます。

DX3215 カメラの仕様

カメラの仕様		
カラー		24 ビット、約 1,670 万色
コンピュータとの通信	USB	ケーブル （カメラに付属）
サイズ	幅 / 奥行き / 高さ	121.2 x 69.5 x 45.8 mm
	重さ	220 g (電池またはカードを含まない)
露出調整		自動
フラッシュ	モード	自動、逆光、赤目軽減、オフ
	範囲	広角：0.8 ～ 2.4 m 望遠：1.5 ～ 2 m
	充電時間	充電済み電池で最大 13 秒
ISO 準拠		100/140
液晶画面		45.7 mm、カラー、約 6 万ピクセル 再生速度 : 15 フレーム / 秒

カメラの仕様		
レンズ	種類	光学品質のガラス、8 エレメント
	最大絞り	f/3.8 ～ 4.5
	実焦点距離	30 ～ 60 mm
	焦点距離	広角：75 cm ～無限 望遠：1.5 m ～無限 マクロ：25 cm
動作温度		0 ～ 40 ℃
画像ファイル形式		JPEG
画像記憶媒体		内蔵メモリ : 8 MB MMC または SD カード : 別売
画像解像度		高画質：1280 x 960 ピクセル 標準画質：640 x 480 ピクセル
CCD の合計解像度		1.3 メガピクセル
電源	電池	リチウム KCRV3 1 個 リチウム単三乾電池 2 個 ニッケル水素単三蓄電池 2 個 アルカリ電池はお勧めできません。
	バッテリー パック (EASYSHARE カメラ ドック専用)	KODAK ニッケル水素充電式バッテリー パック (EASYSHARE カメラ ドックでのみ充電可能) バッテリー パックは別売りもしています。
三脚取り付け口		0.006 m x 20、溝付き
ビデオ出力		NTSC または PAL の選択肢
ビューファインダー		光学
ホワイト バランス		自動

カメラの仕様	
ズーム	光学 2 倍、デジタル 2 倍

EASYSHARE カメラ ドックの仕様

EASYSHARE カメラ ドックの仕様		
コンピュータとの通信	USB	ケーブル（KODAK DX シリーズ カメラに付属）
サイズ (インサート なし)	幅 / 奥行き / 高さ	150 x 112.5 x 38.5 mm
	重さ	155 g
サイズ (インサート 込み)	幅 / 奥行き / 高さ	150 x 112.5 x 39.5 mm
	重さ	175 g
インジケータ ライト		2 色の液晶画面で動作 / 充電状態を表示
入力電圧		7 ±0.7 ボルト DC
電源	DC 入力	AC アダプタ （EASYSHARE カメラ ドックに付属）

出荷時の設定 – カメラ

機能	出荷時の設定
フラッシュ	自動
画質	高画質
クイックビュー	オン
ビデオ出力	NTSC
日付 / 時刻	01/01/2001; 0:00
日付スタンプ	オン
日付形式	DD/MM/YYYY
言語	英語

電池を使用する

- **交換用電池の種類** — カメラに使用できる電池の種類は次のとおりです。
  - KODAK リチウム乾電池 KCRV3 1 個 *
  - 1.5 ボルト リチウム単三乾電池 2 個
  - KODAK ニッケル水素充電式バッテリー パック (EASYSHARE カメラ ドックで充電) 1 個 *
  - 1.2 ボルト ニッケル水素単三蓄電池 2 個 *

  * http://www.kodak.com/go/accessories からご購入になれます。

  電池の寿命を損なわないようにするために、**アルカリ電池の使用は避けてください。**
- 電池が金属に触れると、短絡、放電、高温化、漏れなどが生じることがあります。

- 電池はすべて同等に製造されているわけではありません。電池の寿命は年数、使用状況、種類、ブランド、およびカメラによって大きく異なります。デジタル カメラは電池をかなり消耗します。極端な状況における電池の性能はさまざまです。Kodak 研究所のテストでは、さまざまな状況下でニッケル水素蓄電池が最も優れた結果を達成しています。ニッケル水素電池はデジタル カメラのように電池を多く消耗する装置向けに設計されており、他の充電技術に見られるような「メモリ効果」がありません。
- 電池の性能は、温度が 5 ℃ 以下になると低下します。寒い日にカメラを使用するときは、交換用の電池を持参し、撮影時まで保温しておいてください。冷えて機能しなくなった電池は廃棄しないでください。常温に戻ると、使用可能になる場合があります。

ヒント、安全対策、保守

- 安全に関しては、常に基本的な注意事項を守ってください。カメラに同梱の『安全にお使いいただくために』をお読みください。
- 日焼け止めローションなどの化学薬品がカメラの表面につかないように注意してください。
- カメラが厳しい天候にさらされたり、内部に水が入った場合は、カメラをオフにし、電池と MMC/SD カードを取り出してください。カメラを再び使用する前に、すべての部品を 24 時間以上乾かしてください。
- レンズと背面の液晶画面は次の要領でクリーニングしてください：

  1. レンズまたは液晶画面のほこりやちりを軽く吹いて飛ばします。
  2. レンズまたは液晶画面に軽く息を吹きかけて湿らせます。
  3. 起毛のない柔らかい布か、化学処理されていないレンズ用ティッシュで、レンズまたは液晶画面をそっと拭きます。

  カメラのレンズ用以外のクリーニング溶剤は使用しないでください。**化学処理が施された眼鏡用のティッシュでカメラのレンズや液晶画面を拭かないでください。レンズを傷つける可能性があります。**

- カメラの外側は、乾いた清潔な布で拭きます。カメラやカメラの部品に強力な研磨剤や有機溶剤は使用しないでください。
- 国によってはサービス契約があります。詳細については、Kodak 製品の代理店にご連絡ください。

カメラのアクセサリ

用途に合ったアクセサリを加えて、カメラを最大限に活用してください。カメラのオプションを拡張したり、画像の記憶容量を増やしたり、バッテリの寿命を延ばすことができます。

KODAK アクセサリのすべてをご覧になるには、お近くの Kodak 販売店、または http://www.kodak.com/go/accessories の Kodak Web サイトを訪問してください。

KODAK アクセサリ	
EASYSHARE カメラ ドック	画像の高速転送を可能にしたり、付属のバッテリー パックを充電したり、カメラに電力を供給します。
ニッケル水素充電式バッテリー パック (EASYSHARE カメラ ドック用)	KODAK EASYSHARE カメラ ドックで充電可能なバッテリー パックは、いつでもフルパワーの電池を提供します。
KODAK リチウム乾電池 KCRV3	長時間の電池寿命を提供する軽量バッテリーパック
MMC/SD カード	各種サイズのリムーバブル メモリ
プレミアム画像用紙	ご自宅のプリンタで写真品質の画像を印刷できます。

画像記憶媒体の容量

MMC/SD カードにはさまざまな記憶容量のものがあります。以下の表は、標準のファイル サイズで何枚の画像を保存できるかを示したものです。画像ファイルのサイズによって、実際に保存できる画像数はこれより多い場合も少ない場合もあります。

	保存できる画像の数	
	高画質★★	**標準画質★**
内蔵メモリ (8 MB)	20	80
8 MB MMC/SD カード	17	67
16 MB MMC/SD カード	38	148
32 MB MMC/SD カード	80	309
64 MB MMC/SD カード	164	631

MMC/SD カード上の画像の検索

MMC/SD カードに保存されている画像は、多くのカメラ メーカーの合意に基づく規格を使用しています。そのため、別のカメラでもピクチャー カードを使用することができます。カード リーダーを使ってファイルを検索する場合や、ソフトウェアでファイルが見つからなかった場合は、MMC/SD カードのファイル構造に関する以下の説明が役立ちます。

MISC フォルダ —プリント指定機能を使って作成したプリント指定ファイルが入っています。

SYSTEM フォルダ —カメラのファームウェアを更新するために使用します。

DCIM フォルダ —ルート レベルのフォルダで、100K3215 フォルダが入っています。カメラをオンにしたり、別の MMC/SD カードを挿入するたびに、DCIM フォルダ内にある空のフォルダは削除されます。

100K3215 サブフォルダ —MMC/SD カードをカメラに挿入し、保存場所を [自動] に設定して撮影した画像をすべて格納しています。

画像ファイルの命名規則

カメラは内蔵メモリと MMC/SD カードの画像を別々の連番で管理しています。画像は「DCP_nnnn.JPG」と名付けられ、撮影した順に番号が付きます。最初の画像は「DCP_0001.JPG」、一番大きい番号は「DCP_9999.JPG」となります。

MMC/SD カードのファイルの命名規則

- MMC/SD カードの \DCIM\100K3215 フォルダ内に「DCP_9999.JPG」という画像がある場合、次の画像は新しいフォルダ (\DCIM\101K3215) に保存され、「DCP_0001.JPG」という画像から始まります。
- 画像をコンピュータに転送したり、カメラから消去した場合も、カメラは後続の画像すべてに連続番号を使い続けます。たとえば、最後に撮った画像が「DCP_0007.JPG」で、それを消去した場合、次に撮る画像は「DCP_0008.JPG」と名付けられます。
- カメラに別の MMC/SD カードを挿入した場合、次の画像番号は、そのカメラで最後に撮影した画像の番号か、現在フォルダにある一番大きい画像番号のどちらか大きい方に続きます。
- DX3215 以外のカメラで MMC/SD カードを使用し、メーカーがこのファイル構造の規格に準拠している場合、\DCIM フォルダにはそのカメラが名付けたフォルダが含まれます。詳細については、そのカメラの説明書を参照してください。

内蔵メモリのファイルの命名規則

- 内蔵メモリには、フォルダやサブフォルダなしで画像が保存されます。
- 内蔵メモリをフォーマットすると、番号は「DCP_0001」から始まります。
- 内蔵メモリに「DCP_9999」という画像が含まれている場合、次に撮影する画像は、未使用の一番小さい番号になります。たとえば、内蔵メモリに「DCP_0001」、「DCP_0003」、「DCP_9999」が含まれている場合、次の画像の名前は「DCP_0002」となります。

コピー後のファイルの命名規則

カメラは内蔵メモリの画像と MMC/SD カードの画像を別々の連番で管理します。画像をコピーすると、コピー先の場所で順番に番号が付け直されます。

たとえば、下の「コピー前」のリストでは、内蔵メモリの 2 つの画像を MMC/SD カードにコピーしています。コピー後、これらの画像の名前は MMC/SD カード上で「DCP_0004」と「DCP_0005」に変更されます。さらに、「DCP_0005」を消去した場合、次に MMC/SD カードにコピーする画像の名前は「DCP_0006」となります。内蔵メモリ内の元の画像とその番号は変更されません。

コピー前		**コピー後**	
内蔵メモリ	MMC/SD カード	内蔵メモリ	MMC/SD カード
DCP_0001.jpg DCP_0002.jpg	DCP_0001.jpg DCP_0002.jpg DCP_0003.jpg	DCP_0001.jpg DCP_0002.jpg	DCP_0001.jpg DCP_0002.jpg DCP_0003.jpg DCP_0004.jpg DCP_0005.jpg

規制情報

FCC 準拠および勧告

この装置は FCC 規制のパート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に基づきます。1) この装置は有害な電波干渉の原因となってはならない、2) この装置は誤動作の原因となる干渉を含め、受信する干渉を許容しなければならない。

この装置はテストの結果、FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、住宅地区で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。

この装置は無線周波数エネルギーを発生、使用、および放出する可能性があるため、指示に従って設置または使用しないと、無線通信を妨害することがあります。ただし、特定の設置条件で干渉が起こらないという保証はありません。

この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合は (装置をオフ / オンにして調べます)、次の方法をいくつか試して問題を修正することをお勧めします。1) 受信アンテナの方向や位置を変える、2) 装置と受信機の距離を離す、3) 受信機を接続している回路とは別の回路のコンセントに装置を接続する、4) ラジオ / テレビの販売店または経験ある技術者に相談する。

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザーは装置を操作する権利を失うことがあります。製品、指定の追加部品、または製品の取り付けに使用するアクセサリと一緒にシールド インターフェイス ケーブルが提供されている場合、FCC 規制に準拠するためにはそのケーブルを使用する必要があります。

カナダ通信局声明文

通信局クラス B 準拠 —このデジタル装置は、Canadian Department of Communications (カナダ通信局) の無線干渉規制で定められたデジタル機器から放出される無線干渉雑音に対するクラス B の制限を越えていません。

Obervation des normes-Class B — Le présent appareil numérique n'émet pas de bruits radioélectriques dépassant les limites applicables aux appareils numériques de la Classe B prescrites dans les règlements sur le brouillage redioélectrique édictés par le Ministère des Communications du Canada.

日本 *VCCI* 声明文

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

索引

ふ

へ